

安全データシート

作成日 2013 年 9 月 26 日

改訂日 2025 年 8 月 25.日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 鉄粉 # 300
使用上の注意 : 不純物として硫化鉄が含まれるため、使用用途によっては硫化水素が発生することもあります。酸との接触で硫化水素が発生する可能性があります。
会社名 : 協和純薬工業株式会社
住所 : 東京都北区浮間 4-16-28
担当部門 : 品質管理室
電話番号 : 03-3968-7441
FAX 番号 : 03-3969-0049
緊急連絡先 : 協和純薬工業株式会社 本社 電話番号 03-3968-7441

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

鈍性化爆発物	: 区分に該当しない
爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
可燃性エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類できない
酸化性液体	: 区分に該当しない
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性化学品	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入:気体)	: 区分に該当しない

急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分 2（呼吸器系）
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない
GHS ラベル要素	
絵表示	: 
注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 強い眼刺激 長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
注意書き	
安全対策	: 火気注意 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 保護眼鏡、防じんマスクなど適切な保護具を着用すること。 防爆型の電気機器を使用すること。 粉じんの吸入を避けること。 取扱い後は手をよく洗うこと。
応急措置	: 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合には、医師の診断/手当てを受けること。 火災の場合、消火には適切な消火剤を使用すること。 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
保管	: 水濡れ注意 酸性又はアルカリ性の強い物質や過酸化物、火気が発生す

るおそれのある機器から遠ざけること。
換気の良い場所で施錠して保管すること。
容器を密閉しておくこと。

廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物
処理業者に委託処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学名又は一般名	化学式	含有量 (%)	CAS 登録番号
金属鉄	Fe	73～94	7439-89-6
酸化鉄	Fe ₂ O ₃	10～21	1309-37-1
二酸化ケイ素※	SiO ₂	0.5～5.0	7631-86-9
マンガン※	Mn	0.5 以下	7439-96-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 :

鉄

※(不純物)は鉄と合金化あるいは結晶中に取り込まれた成分であり、いずれも単離した粒子ではないため GHS 分類および危険有害性には影響しない。

※以外にも炭素や微量の不純物(硫化鉄、硫黄、カルシウム、リンなど)を含むが、いずれも危険有害性には影響しない。

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動させ、水でうがいをさせること。
必要に応じて、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。

眼に入った場合 : 絶対に眼をこすらず、清浄な水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 水で口をすすぎ、直ちに医師の診断/手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状 : 眼に入った場合、角膜などに刺さると洗眼しても痛みが継続する。
皮膚に付着した場合、傷口などに入ると炎症を起こすおそれ。
多量に吸入した場合、呼吸器障害を誘発するおそれ。

応急措置をする者の保護 : 個人用保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 吸入した場合は物質名(鉄粉)と粒径、吸入量や時間などを医師に伝える。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 金属火災用粉末消火器、乾燥砂、乾燥珪藻土、乾燥消石灰

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

火災危険性 : 赤熱したものに注水すると水蒸気爆発のおそれ

火災時の危険有害性分解生成物 : 酸化鉄、水素

消火方法	: 乾燥した土砂などで覆い、酸素供給源を断つ（窒素消火が有効）。
消火活動を行う者の保護	: 耐熱服など消火活動に適した保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 適切な保護具（第8項参照）を着用する。
環境に対する注意事項	: 屋内であれば窓を閉め、大気への粉じん飛散を防ぐ。 土のうなどを使用し、排水への流出を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: ほうきや磁石などを使って、密閉容器に回収する。 電気掃除機で回収する場合は、防爆型を使用する。
回収、中和	: 利用可能な情報はない。
二次災害の防止策	: 散水は発熱、発火のおそれがあるため行わない。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、保護具を着用する。 粉じん吸入防止のため、風通しの良い作業環境を確保する。 粉じん箇所には局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	: 適切な保護具（第8項参照）を着用する。 周辺での火気の使用を禁止する。
接触回避	: 火気、水分及び混触危険物質（第10項参照）。
衛生対策	: 取扱い後は手をよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	: なるべく低温で乾燥した環境で保管する。 （気温 30℃以下、相対湿度 60%以下を推奨） 屋外や水濡れの可能性がある場所、直射日光が当たるなど温度変化の激しい場所では保管しないこと。 火気や電源(コンセントなど)、電気機器から遠ざけること。
安全な容器包装材料	: 酸素及び水分透過性の低い材質が好ましい。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	
日本産業衛生学会	: 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん $3.0 / (1.19Q + 1) \text{ mg/m}^3$ Q=粉じんの遊離珪酸含有率（本製品は 0%）
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 鉄 第3種粉じん（石灰石、その他の無機及び有機粉じん） 吸引性粉じん 2 mg/m^3 、総粉じん 8 mg/m^3 酸化鉄 第2種粉じん（遊離珪酸 10%未満の鉱物性粉じん、酸化鉄、カーボンブラック等） 吸引性粉じん 1 mg/m^3 、総粉じん 4 mg/m^3

ACGIH	: 全体換気装置又は局所排気装置を設置する 吸引性粉じん 3 mg/m ³
設備対策	: 全体換気装置又は局所排気装置を設置する
保護具	
呼吸用保護具	: 防じんマスク（国家検定区分 2 以上を推奨）
手の保護具	: 保護手袋
眼/顔面の保護具	: 保護眼鏡、ゴーグル（JIS、EN、ANSI 規格適合品を推奨）
皮膚及び身体の保護具	: ヘルメット、安全靴、粉じん対応防護服など

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
形状	: 粉末
色	: 黒色
臭い	: データなし
融点/凝固点	: 1,535°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 2,754°C
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に不溶、酸に溶ける
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は比重	: 7.3g/cm ³
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 通常の取扱いにおいては安定している。 大気中の酸素、水分によって徐々に酸化する（錆びる）。 高温、高湿度化では酸化が促進される。 急激に酸化すると反応熱を放出する。
危険有害反応性の可能性	: 酸を含んだ水に触れると水素ガスが発生するおそれ。 空気中に舞い上がった粉じんに着火すると爆発のおそれ。
避けるべき条件	: 水濡れの可能性がある場所、混触危険物質（次項）や火気 が発生するおそれのある器具の近くでの取扱い又は保管を 避ける。
混触危険物質	: 酸性又はアルカリ性の強い物質（塩酸、苛性ソーダなど） 過酸化物（酸化剤、漂白剤など）

危険有害性のある分解生成物 : 酸化鉄、水素

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	: データなし
急性毒性（経皮）	: データなし
急性毒性（吸入）	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データはないが、眼を機械的に刺激することがある。
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: ヒトで咳が見られ、息苦しさもある。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 長期間粉じんを吸入すると塵肺をおこすことがある。
誤えん有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 汚染容器においては、関連法規並びに地方自治体の条例に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 該当しない
国連危険有害性クラス	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
国内規制	
国連番号	: 該当しない
国連危険有害性クラス	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
その他（一般的）注意事項	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏

れないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

消防法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険有害物（法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9） 名称等を通知すべき危険有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9） リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第 57 条の 3） 酸化鉄、シリカ、マンガン及びその無機化合物
水質汚濁防止法	: 指定物質 鉄及びその化合物、マンガン及びその化合物
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 該当しない

1 6. その他の情報

この安全データシート (SDS) は、JIS Z 7252 : 2019、JIS Z 7253 : 2019 に準拠し、作成時における最新の資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される事があります。

また、SDS 中の注意事項は通常の実施を前提としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途や使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。

※危険、有害性の評価は必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いには十分注意をお願い致します。

【参考文献】

NITE : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <https://www.nite.go.jp/chem/index.html>

化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告